



2020年3月9日

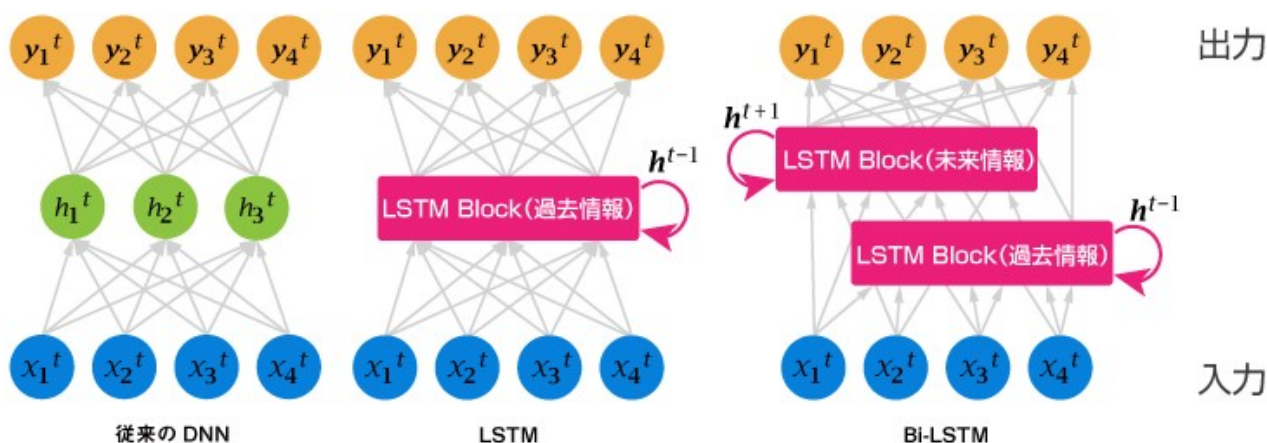
株式会社アドバンスト・メディア

双方向型のディープラーニング技術「Bi-LSTM」の実装で 音声認識エンジン **AmiVoice**[®] の認識率が大幅向上 エラー改善率最大 25% を記録

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、双方向型のディープラーニング技術「Bi-LSTM（Bidirectional Long Short-Term Memory）」を音声認識エンジン AmiVoice に実装しました。これによりエラー改善率が最大で 25%（当社調べ）と、自然発話を中心とした認識率が大幅に向上しました。

Bi-LSTM は、ディープラーニングの発展技術の一つです。従来の音声認識エンジン AmiVoice に実装していた、リカレントニューラルネットワーク技術の「LSTM（Long Short-Term Memory）」は、過去の情報を加味しながら処理を行います。しかし、「Bi-LSTM」は未来の情報を予測し加える事で、双方向の時間軸から処理を行います。その為、更に高い認識率を実現する事が可能になりました。

この度、音声認識エンジン AmiVoice の音響モデルに「Bi-LSTM」技術を実装する事で、「LSTM」を実装した音声認識エンジンと比較し、リアルタイム認識で最大 20%、バッチ認識で最大 25% のエラー改善率となり、認識率が大幅に向上しました。オンライン音声認識エンジンに加え、オフラインの音声認識エンジンにも実装しました。



4月より音声認識 API の開発プラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform」にて、「Bi-LSTM」を実装した音声認識エンジン AmiVoice の提供を開始します。<https://acp.amivoice.com/main/>

また、今後も文字起こしソリューションやコールセンター等、順次各サービスへの実装を予定しています。

一昔前は、音響特徴量のパターンを連続分布でモデル化する「混合ガウス分布（GMM）」技術を活用した音声認識エンジンが主流でした。しかし 2013 年頃から徐々にディープラーニング技術の活用が広がり、この数年で認識率が飛躍的に向上しています。

同時に、私たちの生活やビジネス等、幅広いシーンで音声認識が使われるようになり、更なる需要の拡大が見込まれています。

アドバンスト・メディアでは、今後も継続的に技術開発を進め、お客様業務の効率化・価値創造に貢献するソリューションやサービスの提供に努めてまいります。

以上

<株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L : <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立 : 1997 年 12 月

資 本 金 : 68 億 7,175 万円 (18,272,724 株) (2019 年 9 月末現在)

事 業 内 容 : ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

<株式会社アドバンスト・メディア>

報道関係
経営管理本部 広報チーム
TEL : 03-5958-1307
FAX : 03-5958-1032
E-mail : press@advanced-media.co.jp